

深谷市国民健康保険保健事業実施計画 (データヘルス計画)

平成 28 年度～平成 29 年度



平成 28 年 10 月
深谷市

目 次

第1章 保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項

1 背景	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画期間	2

第2章 深谷市の現状

1 地域の特性	
（1）人口及び国民健康保険被保険者の状況	3
（2）死亡の状況	5
2 健康・医療情報の分析	
（1）健診データの分析	7
（2）医療費データの分析	15
（3）これまでの保健事業の取組	18

第3章 深谷市における課題

1 深谷市における健康課題のまとめ	22
（1）地域の特性から浮かび上がった課題	22
（2）医療費の分析及びこれまでの取組から見えてきた課題.....	22

第4章 目的・目標の設定

1 高血糖・高血圧対策	23
2 特定健診・特定保健指導	23
3 その他	23

第5章 保健事業の実施内容

24

第6章 計画の評価及び見直し

1 計画の評価及び見直し	25
--------------------	----

第7章 計画の推進

1 計画の公表・周知	25
2 事業運営上の留意事項	25
3 個人情報の保護	25

第1章 保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項

1 背景

近年、特定健康診査（以下「特定健診」という。）の実施や診療報酬明細書等（以下「レセプト等」という。）の電子化の進展、国保データベース（KDB）システム（以下「KDB」という。）等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでいる。

こうした中、「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）においても、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することとされた。

これまでも、保険者においては、レセプト等や統計資料等を活用することにより、「特定健診等実施計画」の策定や見直し、その他の保健事業を実施してきたところではあるが、今後は、さらなる被保険者の健康保持増進に努めるため、保有しているデータを活用しながら、被保険者をリスク別に分けてターゲットを絞った保健事業の展開やポピュレーションアプローチから重症化予防まで網羅的に保健事業を進めていくことなどが求められている。

厚生労働省は、このような背景を踏まえ国民健康保険法（昭和33年法律192号）第82条第4項の規定に基づき厚生労働大臣が定める国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（平成16年厚生労働大臣告示第307号。以下「保健事業実施指針」という。）の一部を改正し、保険者は健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うものとした。

深谷市においても保健事業実施指針に基づき、データヘルス計画を定め、被保険者の健康増進、健康格差の縮小を目指し、保健事業の実施及び評価を行うものとする。

2 計画の位置づけ

保健事業実施計画（データヘルス計画）とは、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画である。計画の策定に当たっては、特定健診の結果、レセプト等のデータを活用し分析を行い、保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づく事業の評価においても健康・医療情報を活用して行う。

本計画は、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21（第2次））」に示された基本方針を踏まえるとともに、「健康埼玉21」及び「深谷市健康づくり計画」で用いた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図る必要がある。

なお、「特定健診等実施計画」は保健事業の中核をなす特定健診及び特定保健指導の具体的な実施方法を定めるものであることから、保健事業実施計画（データヘルス計画）と一体的に策定する。

計画の種類	特定健康診査等 実施計画	データヘルス計画 (保健事業実施計画)	健康増進計画
計画の名称	第2期 深谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画	深谷市国民健康保険保健事業実施計画	深谷市健康づくり計画
法律	高齢者の医療の確保に関する法律第19条	国民健康保険法第82条	健康増進法第8条
実施主体	保険者（義務）	保険者（努力義務）	市町村（努力義務）
計画期間	平成25年度～29年度	平成28年度～29年度	平成25年度～29年度
目的	・国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸 ・メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣病の発症予防と重症化の抑制 ・医療費適正化	・国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸 ・メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣病の発症予防と重症化の抑制 ・医療費適正化 ・PDCAサイクルを利用した効果的、効率的な保健事業の実施	市民の健康寿命の延伸
対象者	国民健康保険被保険者・40歳～74歳	国民健康保険被保険者・0歳～74歳	全ての市民
主な内容	生活習慣病（メタボリックシンドローム）の発症予防 生活習慣病の重症化予防		栄養・食生活 身体活動・運動 休養・こころの健康

3 計画期間

計画期間については、「第2期 深谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画」及び「深谷市健康づくり計画」との整合性を踏まえ、深谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画の第2期の最終年度である平成29年度までとする。

第2章 深谷市の現状

1 地域の特性

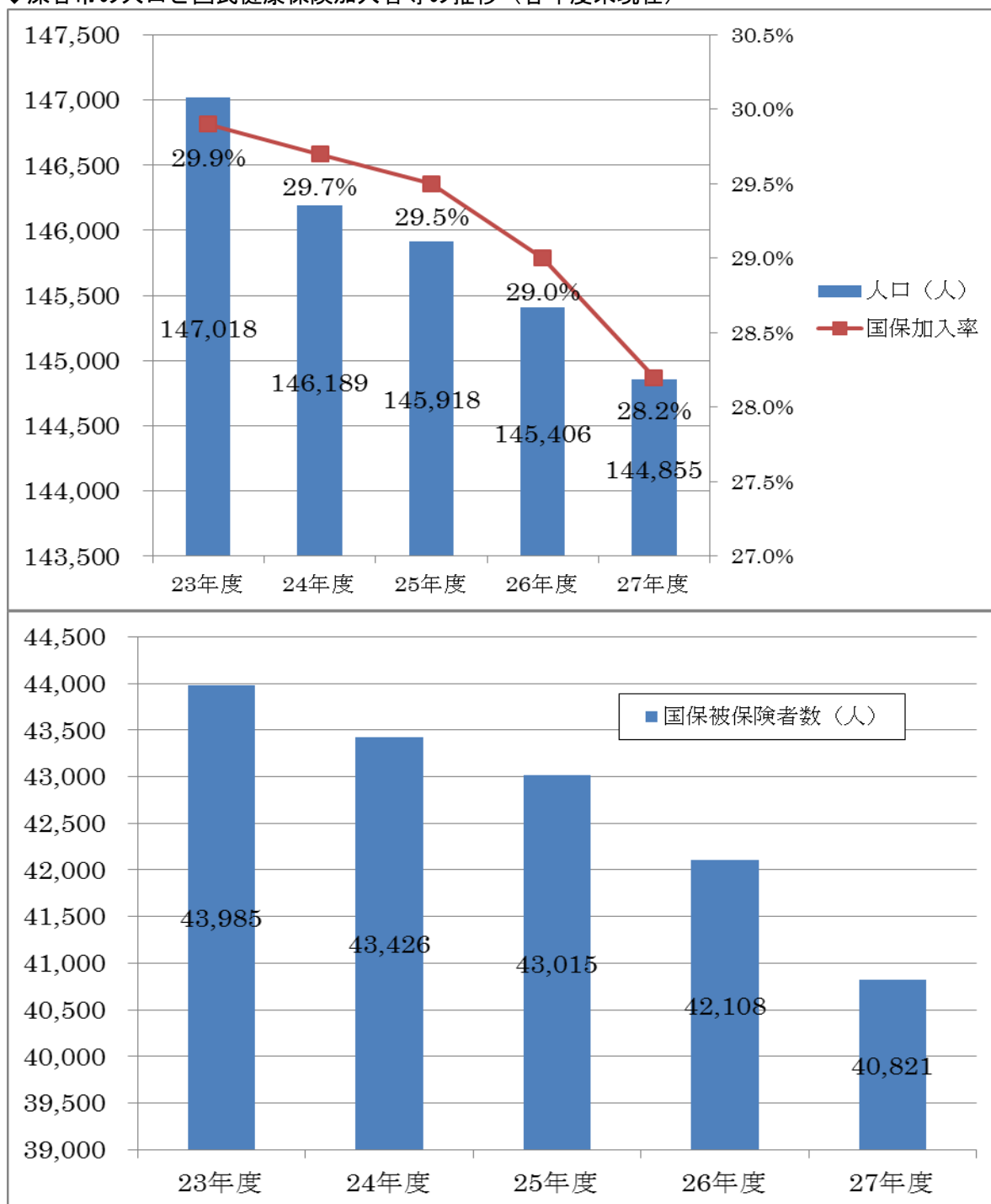
(1) 人口及び国民健康保険被保険者の状況

①人口及び国民健康保険の加入状況

深谷市の人口は減少傾向にあり、1年ごとに200～800人程度ずつ減少している。

また、国民健康保険の加入率は減少傾向で、人口減少とも相まって国民健康保険被保険者数も減少傾向にある。

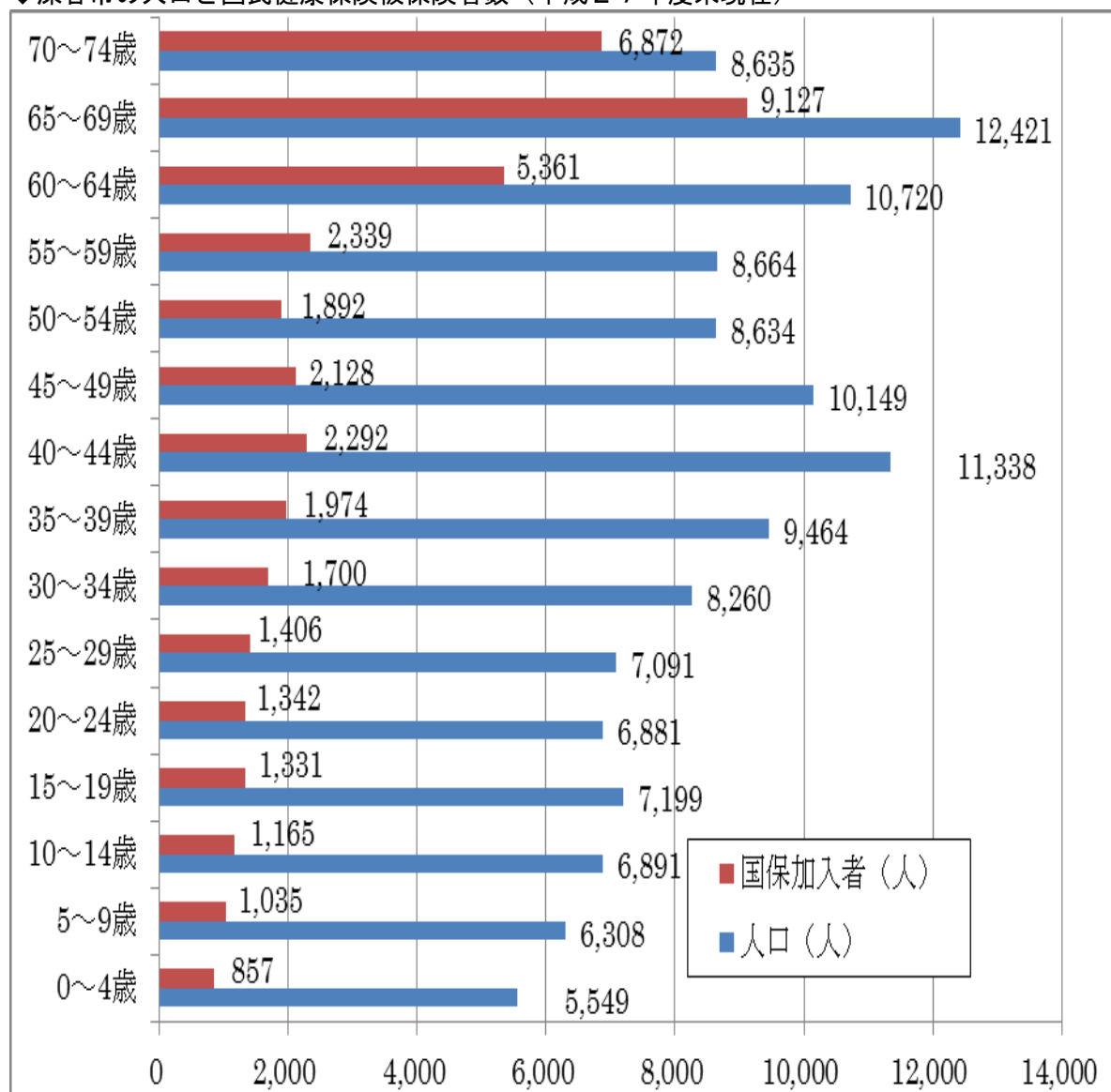
◆深谷市の人口と国民健康保険加入者等の推移（各年度末現在）



②年齢階層別人口及び被保険者数

年齢別階層別の被保険者数では、男女共に、60歳以上から大きく加入者数が増えており、60歳以上の被保険者数が全体の被保険者数の約半数を占めている。また、65歳以上75歳未満の人口のほとんどは国民健康保険に加入している。

◆深谷市の人口と国民健康保険被保険者数（平成27年度末現在）



③医療費の状況

一人当たり診療費等は歯科以外の項目について、県内市町村と比べると深谷市は高い状況となっている。

◆1人あたり医療費の状況（平成27年度）

保険者名	1人あたり 療養諸費費用額 (円)	1人あたり診療費(円)			
		医科 入院	医科 入院外	歯科	調剤
深谷市	330,867	115,596	115,577	21,587	67,048
市町村平均	320,636	105,140	115,412	23,721	65,388

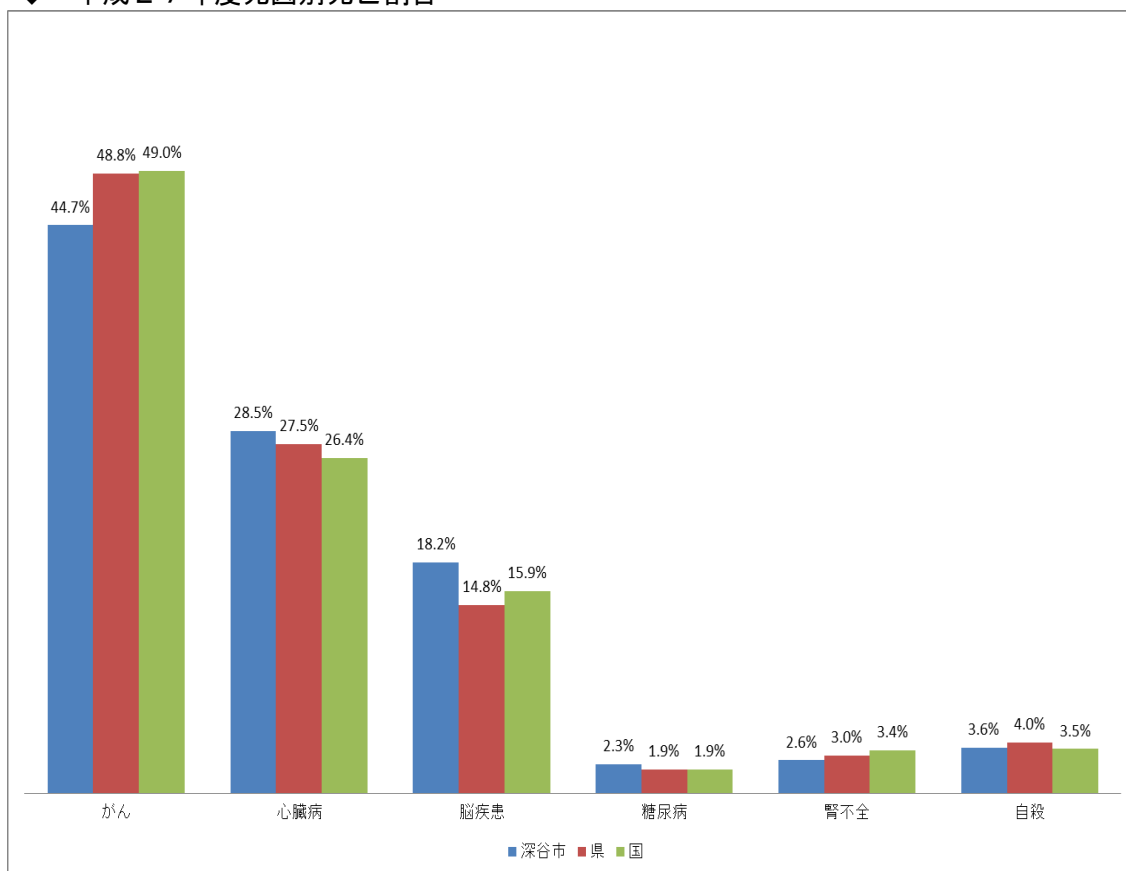
※資料：平成27年度 国民健康保険事業状況（速報値）

（2）死亡の状況

①死因別死亡割合

死因別死亡割合を埼玉県、国と比較したとき、がんでの死亡割合が低く、心臓病、脳疾患、糖尿病の死亡割合が高くなっている。

◆ 平成27年度死因別死亡割合



※資料：KDBシステム（地域の全体像の把握）

②標準化死亡比（SMR）の状況

標準化死亡比（SMR）を埼玉県と比較したとき、急性心筋梗塞及び、女性の脳内出血を除いて、死亡率が高い傾向にある。男女共に、腎不全、脳梗塞において、死亡率が高く、加えて、男性では、心疾患、女性では脳血管疾患において、死亡率が高い状況である。

	死亡総数		悪性新生物		腎不全	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
埼玉県	99.5	104.4	98.6	101.5	101.1	105.6
深谷市	104.5	108.5	100.7	102.2	128.4	112.9

	心疾患 (高血圧性疾患を除く)		急性心筋梗塞		心不全	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
埼玉県	112.0	115.7	107.0	117.4	94.7	105.8
深谷市	120.6	115.0	103.9	102.6	103.9	111.2

	脳血管疾患		脳内出血		脳梗塞	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
埼玉県	102.7	107.1	96.0	99.7	102.9	108.4
深谷市	110.0	119.9	97.9	95.7	120.0	135.4

※資料：厚生労働省 人口動態特殊報告

平成20～24年 人口動態保健所保健所・市区町村別統計より抜粋

※標準化死亡比（SMR）とは

地域別に、死亡数を人口で除した死亡率を比較すると、各地域の年齢構成に差があるため、高齢者が多い地域では高くなり、若年者の多い地域では低くなる傾向がある。このような年齢構成が異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整したものが標準化死亡比（SMR）であり、全国平均の数値を100とし、100より大きい場合は全国より死亡率が高く、100より小さい場合は全国より死亡率が低いこととなる。

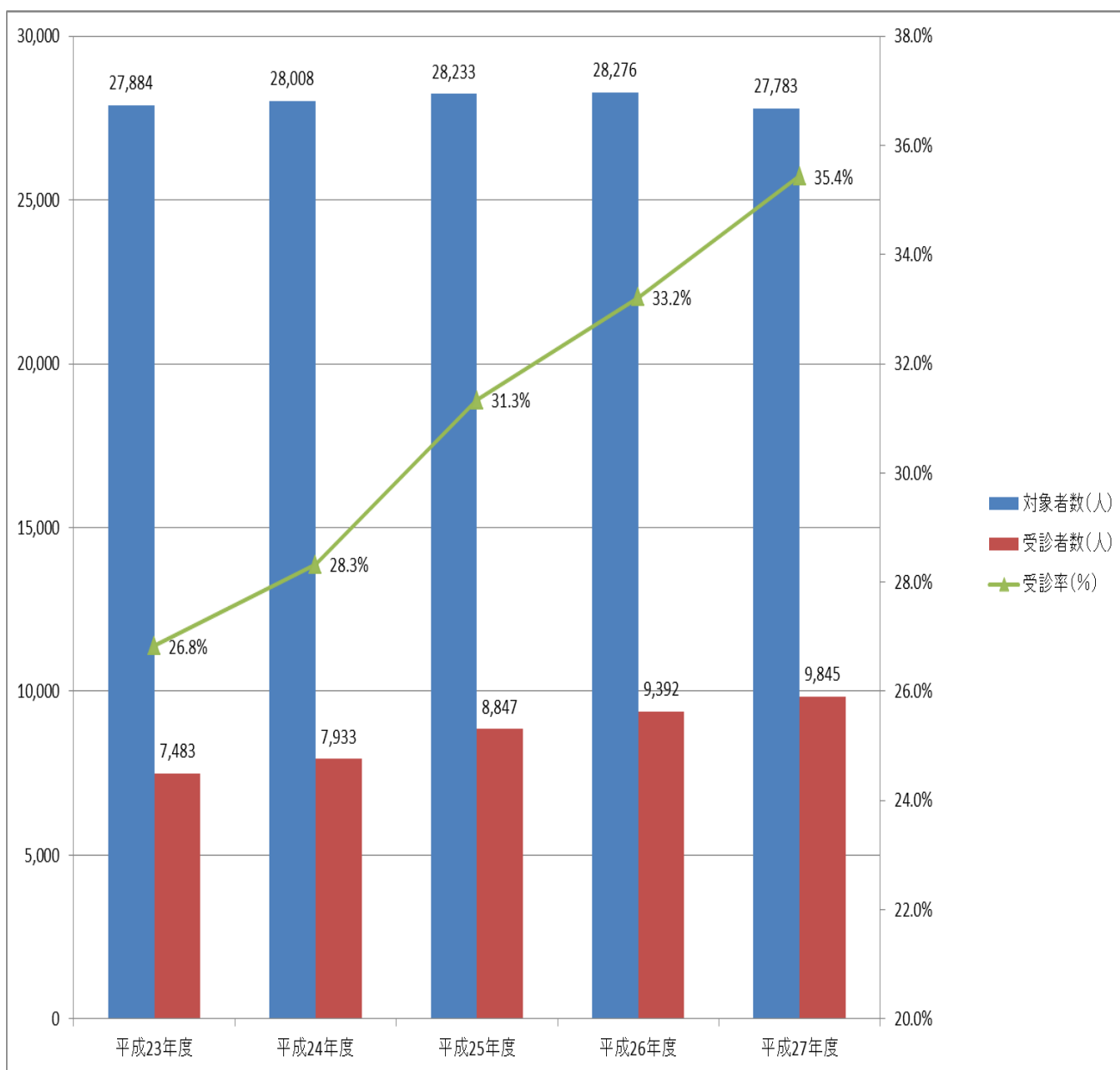
2 健康・医療情報の分析

(1) 健診データの分析

① 特定健康診査受診率

◆ 対象者と受診者の経年推移

平成23年度から26年度にかけて、特定健康診査対象者数は毎年増加してきたが、27年度は減少に転じており、28年度以降減少が予想される。対象者数の増減はあっても受診者数は伸びており、受診率は毎年上昇している。

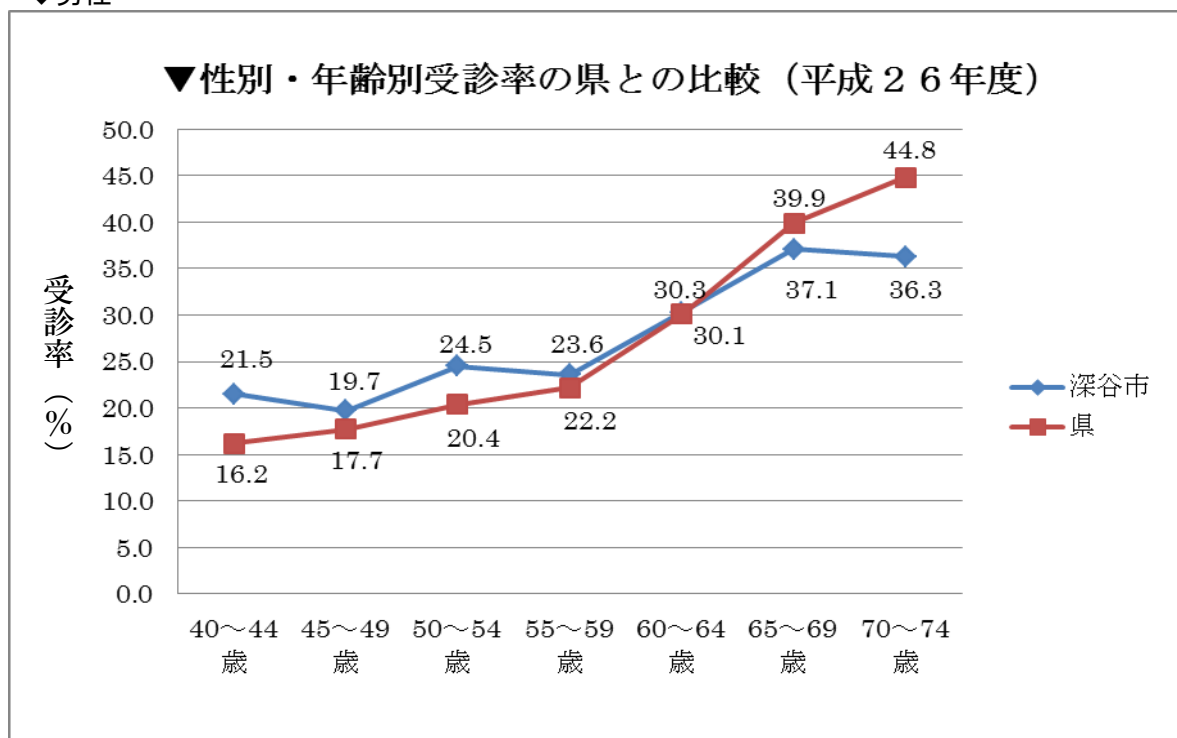


※資料：「特定健診・特定保健指導保険者別実施状況資料」等

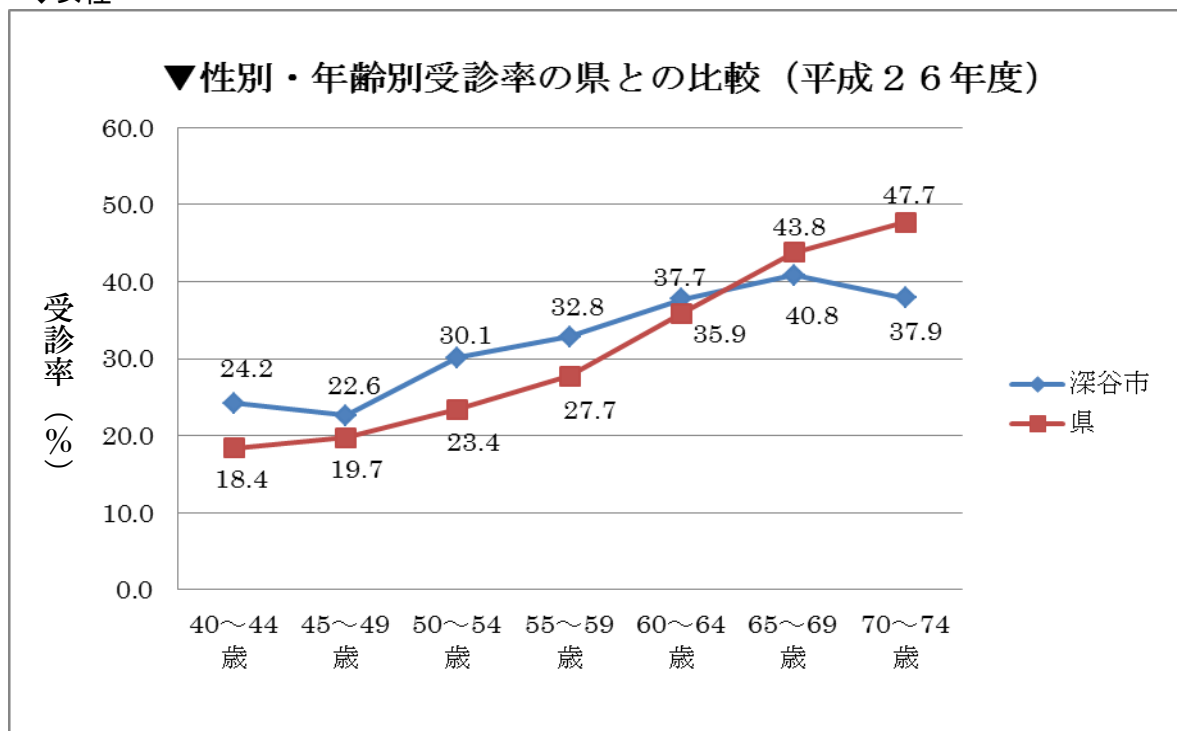
◆性別・年齢別受診率の深谷市と全国市町村平均との比較（平成26年度）

深谷市の性別・年齢別特定健診受診率と全国市町村平均受診率を比較したとき、40～50歳代の若年者層の受診率が高く、60歳以降の高齢者層で、受診率が低い傾向にある。

◆男性



◆女性



※資料：KDBシステム 厚生労働省様式（様式6-9）健診受診状況及び特定健診・特定保健指導実施結果総括表

②特定健診結果の状況

◆健診有所見者状況（平成26年度、男女別・年齢調整）

埼玉県、全国と比較して、BMI、腹囲において所見のあるかたの割合は低い一方で、HbA1c、拡張期血圧に所見のあるかたの割合は高くなっている。つまり、非肥満ではあるが、高血糖・高血圧のかたが多い傾向が見られる。

男性	受診者数	BMI						腹囲					
		25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)		85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40～64歳	全国	1,127,201	378,756	33.6%	33.6%	100(基準)	*98.4	550,262	48.8%	48.8%	100(基準)	*98.8	
	県	84,547	29,087	34.4%	34.0%	*101.6	100(基準)	41,558	49.2%	49.4%	*101.2	100(基準)	
	深谷市	1,692	551	32.6%	33.2%	97.5	96.3	827	48.9%	49.3%	100.2	99.0	
65～74歳	全国	1,937,773	521,642	26.9%	26.9%	100(基準)	*102.1	929,989	48.0%	48.0%	100(基準)	*100.8	
	県	147,875	38,954	26.3%	26.4%	*98.0	100(基準)	70,322	47.6%	47.6%	*99.2	100(基準)	
	深谷市	2,739	671	24.5%	24.4%	*90.6	*92.4	1,234	45.1%	45.0%	*93.6	*94.4	
総数	全国	3,064,974	900,398	29.4%	29.4%	100(基準)	100.5	1,480,251	48.3%	48.3%	100(基準)	100.1	
	県	232,422	68,041	29.3%	29.2%	99.5	100(基準)	111,880	48.1%	48.3%	99.9	100(基準)	
	深谷市	4,431	1,222	27.6%	27.7%	*93.6	*94.1	2,061	46.5%	46.6%	96.1	96.2	

女性	受診者数	BMI						腹囲					
		25以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)		90以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40～64歳	全国	1,476,849	285,563	19.3%	19.3%	100(基準)	*97.8	217,200	14.7%	14.7%	100(基準)	99.7	
	県	103,868	20,443	19.7%	19.8%	*102.3	100(基準)	15,154	14.6%	14.7%	100.3	100(基準)	
	深谷市	2,194	444	20.2%	20.3%	104.3	102.3	300	13.7%	13.8%	92.2	92.2	
65～74歳	全国	2,536,256	532,769	21.0%	21.0%	100(基準)	*102.0	472,737	18.6%	18.6%	100(基準)	*105.0	
	県	190,282	39,204	20.6%	20.6%	*98.0	100(基準)	33,812	17.8%	17.7%	*95.2	100(基準)	
	深谷市	2,787	524	18.8%	18.9%	*89.8	*91.5	423	15.2%	15.2%	*82.0	*86.1	
総数	全国	4,013,105	818,332	20.4%	20.4%	100(基準)	100.6	689,937	17.2%	17.2%	100(基準)	*103.4	
	県	294,150	59,647	20.3%	20.3%	99.4	100(基準)	48,966	16.6%	16.6%	*96.7	100(基準)	
	深谷市	4,981	968	19.4%	19.4%	95.9	96.2	723	14.5%	14.7%	*86.0	*88.5	

男性	受診者数	中性脂肪						ALT(GPT)					
		150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)		31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40～64歳	全国	1,127,201	367,395	32.6%	32.6%	100(基準)	*103.3	298,553	26.5%	26.5%	100(基準)	*102.2	
	県	84,547	26,836	31.7%	31.6%	*96.8	100(基準)	22,530	26.6%	25.8%	*97.8	100(基準)	
	深谷市	1,692	492	29.1%	29.5%	*89.8	92.8	444	26.2%	26.4%	100.2	102.9	
65～74歳	全国	1,937,773	493,896	25.5%	25.5%	100(基準)	*103.4	304,732	15.7%	15.7%	100(基準)	*105.4	
	県	147,875	36,345	24.6%	24.6%	*96.7	100(基準)	21,967	14.9%	14.9%	*94.8	100(基準)	
	深谷市	2,739	607	22.2%	22.0%	*86.2	*89.1	366	13.4%	13.1%	*83.8	*88.4	
総数	全国	3,064,974	861,291	28.1%	28.1%	100(基準)	*103.4	603,285	19.7%	19.7%	100(基準)	*103.8	
	県	232,422	63,181	27.2%	27.2%	*96.7	100(基準)	44,497	19.1%	18.9%	*96.3	100(基準)	
	深谷市	4,431	1,099	24.8%	24.8%	*87.8	*90.7	810	18.3%	18.0%	*92.1	95.8	

女性	受診者数	中性脂肪						ALT(GPT)					
		150以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)		31以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	
40～64歳	全国	1,476,849	219,132	14.8%	14.8%	100(基準)	*104.0	133,838	9.1%	9.1%	100(基準)	100.7	
	県	103,868	14,582	14.0%	14.3%	*96.2	100(基準)	9,203	8.9%	9.0%	99.3	100(基準)	
	深谷市	2,194	284	12.9%	12.8%	*86.3	89.8	168	7.7%	7.7%	*84.0	*84.7	
65～74歳	全国	2,536,256	439,068	17.3%	17.3%	100(基準)	*106.7	204,248	8.1%	8.1%	100(基準)	99.4	
	県	190,282	30,865	16.2%	16.2%	*93.7	100(基準)	15,389	8.1%	8.1%	100.6	100(基準)	
	深谷市	2,787	420	15.1%	15.0%	*87.0	92.9	191	6.9%	6.9%	*84.5	*84.0	
総数	全国	4,013,105	658,200	16.4%	16.4%	100(基準)	*105.8	338,086	8.4%	8.4%	100(基準)	99.9	
	県	294,150	45,447	15.5%	15.5%	*94.5	100(基準)	24,592	8.4%	8.4%	100.1	100(基準)	
	深谷市	4,981	704	14.1%	14.2%	*86.7	*91.6	359	7.2%	7.2%	*84.3	*84.3	

男性		受診者数	HDLコレステロール					LDLコレステロール				
			40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40～64歳	全国	1,127,201	100,030	8.9%	8.9%	100(基準)	98.0	595,754	52.9%	52.9%	100(基準)	*97.5
	県	84,547	7,726	9.1%	9.0%	102.0	100(基準)	46,032	54.4%	54.2%	*102.5	100(基準)
	深谷市	1,692	139	8.2%	8.5%	92.7	91.1	990	58.5%	58.9%	*111.1	*108.3
65～74歳	全国	1,937,773	169,294	8.7%	8.7%	100(基準)	100.9	900,119	46.5%	46.5%	100(基準)	*96.6
	県	147,875	12,813	8.7%	8.7%	99.1	100(基準)	70,995	48.0%	48.1%	*103.5	100(基準)
	深谷市	2,739	205	7.5%	7.6%	*86.0	*86.8	1,368	49.9%	49.7%	*106.9	*103.2
総数	全国	3,064,974	269,324	8.8%	8.8%	100(基準)	99.8	1,495,873	48.8%	48.8%	100(基準)	*97.0
	県	232,422	20,539	8.8%	8.8%	100.2	100(基準)	117,027	50.4%	50.3%	*103.1	100(基準)
	深谷市	4,431	344	7.8%	7.9%	*88.6	*88.5	2,358	53.2%	53.1%	*108.6	*105.3

女性		受診者数	HDLコレステロール					LDLコレステロール				
			40未満	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	120以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40～64歳	全国	1,476,849	24,201	1.6%	1.6%	100(基準)	*82.4	858,601	58.1%	58.1%	100(基準)	*98.4
	県	103,868	2,072	2.0%	2.0%	*121.3	100(基準)	60,447	58.2%	59.1%	*101.7	100(基準)
	深谷市	2,194	35	1.6%	1.6%	97.0	80.2	1,368	62.4%	61.8%	*106.5	104.8
65～74歳	全国	2,536,256	55,294	2.2%	2.2%	100(基準)	*92.3	1,497,725	59.1%	59.1%	100(基準)	*97.1
	県	190,282	4,502	2.4%	2.4%	*108.3	100(基準)	115,621	60.8%	60.8%	*103.0	100(基準)
	深谷市	2,787	51	1.8%	1.8%	84.8	77.8	1,759	63.1%	62.8%	*106.3	103.3
総数	全国	4,013,105	79,495	2.0%	2.0%	100(基準)	*89.2	2,356,326	58.7%	58.7%	100(基準)	*97.5
	県	294,150	6,574	2.2%	2.2%	*112.1	100(基準)	176,068	59.9%	60.2%	*102.5	100(基準)
	深谷市	4,981	86	1.7%	1.7%	89.4	*78.8	3,127	62.8%	62.5%	*106.4	*103.9

男性		受診者数	HbA1c					尿酸				
			5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40～64歳	全国	1,127,201	503,345	44.7%	44.7%	100(基準)	*90.8	156,956	13.9%	13.9%	100(基準)	*78.6
	県	84,547	40,303	47.7%	49.1%	*110.1	100(基準)	15,132	17.9%	17.8%	*127.2	100(基準)
	深谷市	1,692	1,068	63.1%	63.1%	*140.0	*127.4	300	17.7%	17.8%	*127.9	100.4
65～74歳	全国	1,937,773	1,124,408	58.0%	58.0%	100(基準)	*92.3	234,516	12.1%	12.1%	100(基準)	*76.4
	県	147,875	92,976	62.9%	62.9%	*108.3	100(基準)	23,390	15.8%	15.8%	*130.8	100(基準)
	深谷市	2,739	2,081	76.0%	76.0%	*131.2	*121.0	419	15.3%	15.2%	*125.9	96.3
総数	全国	3,064,974	1,627,753	53.1%	53.1%	100(基準)	*91.9	391,472	12.8%	12.8%	100(基準)	*77.3
	県	232,422	133,279	57.3%	57.8%	*108.8	100(基準)	38,522	16.6%	16.5%	*129.4	100(基準)
	深谷市	4,431	3,149	71.1%	71.3%	*134.1	*123.1	719	16.2%	16.2%	*126.7	97.9

女性		受診者数	HbA1c					尿酸				
			5.6以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	7.0以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40～64歳	全国	1,476,849	643,358	43.6%	43.6%	100(基準)	*90.0	18,914	1.3%	1.3%	100(基準)	*75.0
	県	103,868	49,183	47.4%	48.4%	*111.1	100(基準)	1,742	1.7%	1.7%	*133.3	100(基準)
	深谷市	2,194	1,410	64.3%	63.6%	*145.1	*130.8	38	1.7%	1.7%	134.2	99.9
65～74歳	全国	2,536,256	1,476,906	58.2%	58.2%	100(基準)	*92.4	44,617	1.8%	1.8%	100(基準)	*75.5
	県	190,282	119,967	63.0%	63.0%	*108.2	100(基準)	4,445	2.3%	2.3%	*132.5	100(基準)
	深谷市	2,787	2,145	77.0%	77.2%	*132.4	*122.3	52	1.9%	1.8%	107.5	81.3
総数	全国	4,013,105	2,120,264	52.8%	52.8%	100(基準)	*91.7	63,531	1.6%	1.6%	100(基準)	*75.4
	県	294,150	169,150	57.5%	57.6%	*109.1	100(基準)	6,187	2.1%	2.1%	*132.7	100(基準)
	深谷市	4,981	3,555	71.4%	72.2%	*137.2	*125.6	90	1.8%	1.8%	117.3	88.2

男性		受診者数	収縮期血圧					拡張期血圧				
			130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40～64歳	全国	1,127,201	467,318	41.5%	41.5%	100(基準)	*94.4	320,167	28.4%	28.4%	100(基準)	*92.7
	県	84,547	35,927	42.5%	43.8%	*106.0	100(基準)	25,434	30.1%	30.5%	*107.9	100(基準)
	深谷市	1,692	694	41.0%	40.6%	98.0	92.9	756	44.7%	44.7%	*158.1	*147.4
65～74歳	全国	1,937,773	1,056,338	54.5%	54.5%	100(基準)	*96.8	420,194	21.7%	21.7%	100(基準)	*94.8
	県	147,875	83,353	56.4%	56.3%	*103.3	100(基準)	33,644	22.8%	22.9%	*105.5	100(基準)
	深谷市	2,739	1,506	55.0%	55.0%	101.1	97.7	1,102	40.2%	39.7%	*182.1	*172.9
総数	全国	3,064,974	1,523,656	49.7%	49.7%	100(基準)	*96.0	740,361	24.2%	24.2%	100(基準)	*93.9
	県	232,422	119,280	51.3%	51.7%	*104.1	100(基準)	59,078	25.4%	25.7%	*106.5	100(基準)
	深谷市	4,431	2,200	49.7%	49.7%	100.1	96.2	1,858	41.9%	41.5%	*171.5	*161.5

女性		受診者数	収縮期血圧					拡張期血圧				
			130以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)	85以上	割合(%)	年齢調整(%)	標準化比(全国)	標準化比(県)
40～64歳	全国	1,476,849	465,637	31.5%	31.5%	100(基準)	*92.3	218,784	14.8%	14.8%	100(基準)	*89.0
	県	103,868	34,593	33.3%	34.1%	*108.3	100(基準)	17,002	16.4%	16.6%	*112.4	100(基準)
	深谷市	2,194	745	34.0%	33.3%	105.6	97.6	571	26.0%	25.8%	*174.4	*155.2
65～74歳	全国	2,536,256	1,274,257	50.2%	50.2%	100(基準)	*95.9	368,041	14.5%	14.5%	100(基準)	*91.9
	県	190,282	99,822	52.5%	52.4%	*104.3	100(基準)	29,990	15.8%	15.8%	*108.8	100(基準)
	深谷市	2,787	1,417	50.8%	51.2%	101.8	97.5	678	24.3%	24.2%	*166.0	*152.6
総数	全国	4,013,105	1,739,894	43.4%	43.4%	100(基準)	*95.0	586,825	14.6%	14.6%	100(基準)	*90.8
	県	294,150	134,415	45.7%	45.7%	*105.3	100(基準)	46,992	16.0%	16.1%	*110.1	100(基準)
	深谷市	4,981	2,162	43.4%	44.6%	103.1	97.5	1,249	25.1%	24.8%	*169.7	*153.8

資料：KDBシステム 厚生労働省様式（様式6-2～7）年齢調整ツール

※標準化比とは

地域別に、有所見者数を人口で除した有所見者率を比較すると、各地域の年齢構成に差があるため、高齢者が多い地域では高くなり、若年者の多い地域では低くなる傾向がある。このような年齢構成が異なる地域間で有所見状況の比較ができるように年齢構成を調整したものであり、全国平均の数値を100とし、100より大きい場合は全国より有所見率が高く、100より小さい場合は全国より有所見率が低いこととなる。

検査項目		検査でわかること
肥満度	BMI	身長と体重から、BMIを算出し肥満度をみる。求め方＝体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)
	腹囲	内臓脂肪型肥満かどうかを判定。
脂質	中性脂肪	血液中の中性脂肪の量を測定。悪玉のLDLコレステロールを増やし、動脈硬化を進める。
	HDLコレステロール	血液中の含まれる動脈硬化を防ぐ善玉コレステロールの量を測定。悪玉のLDLコレステロールを肝臓に持ち帰る働きがある。
	LDLコレステロール	血液中の含まれる悪玉コレステロールの量を測定。値が増加すると、動脈硬化を進める。
肝機能	ALT(GOT)	肝細胞に含まれる酵素。肝臓の障害が起こると血液中に流れ出し値が高くなる。
糖代謝	HbA1c	過去1～2ヶ月の血糖の状態がわかり、糖尿病の診断や治療の指標となる。
腎機能	尿酸	プリン体の最終産物。数値が高くなると痛風、尿路結石の原因となる。
血圧	収縮期血圧	心臓が収縮または拡張した時に血管壁にあたる血流の強さを表す。循環器(心臓、血管)の異常のほか腎臓、内分泌、代謝系の異常を知る手がかりになる。
	拡張期血圧	

◆特定健診結果有所見率（平成２７年度）

埼玉県、全国と比較して、「非肥満高血糖」、「血糖」、「血糖・血圧」、「血糖・脂質」、「血糖・血圧・脂質」に所見のあるかたの割合は高くなっており、県内順位も上位となっている。

特に、非肥満高血糖のかたが１８．９％となっており（埼玉県内ワースト５位）、これは、健診を受けた５人に１人が非肥満高血糖であることを示す。血糖での有所見率が軒並み県内上位であり、高血糖該当者をすべて合わせると、健診者のうち約３割のかたが血糖に所見があることがわかる。

メタボ該当者や、メタボ予備軍に該当するかたは、全体の３割弱いるが、埼玉県、国と比較すると、その割合は若干低くなっている。

検査値はメタボ・予備軍レベル	深谷市 (%) (順位)	埼玉県 (%)	全国 (%)
メタボ予備群	9.3 (62)	10.9	10.7
メタボ該当者	16.9 (31)	16.7	16.7
非肥満高血糖	18.9 (5)	9.4	9.3
腹囲	29.2(52)	31.0	30.8
BMI	4.4(44)	4.9	4.7
血糖	1.0 (9)	0.6	0.6
血圧	6.7(56)	7.9	7.4
脂質	1.6 (62)	2.4	2.6
血糖・血圧	3.8 (6)	2.7	2.6
血糖・脂質	1.2 (14)	0.8	0.9
血圧・脂質	5.3(63)	8.2	8.2
血糖・血圧・脂質	6.6 (8)	4.9	5.0

（総保険者数 ６９）

※資料：ＫＤＢシステム 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

③特定健診結果（質問票）の状況（平成26年度）

特定健診の質問票の状況について年齢調整をし、同規模保険者、埼玉県、全国と比較した。男性において、毎日飲酒するかたの割合が高く、また、男女ともに、運動習慣の無いかたが多い状況である。

◆男性

質問表の項目 単位：％		総人数	年齢調整割合				標準化比 vs.		
		深谷市	深谷市	同規模	県	全国 (基準)	同規模 (=100)	県 (=100)	全国 (=100)
たばこ	喫煙している	4431	24.7%	24.3%	25.8%	25.0%	100.9	94.8	97.8
運動習慣	1回30分以上の運動習慣なし	4425	59.7%	55.3%	53.9%	56.5%	*107.8	*110.6	*105.5
	日常生活で1日1時間以上運動なし	4425	45.3%	44.7%	44.8%	45.7%	101.4	101.1	99.1
飲酒	習慣	毎日飲酒	4425	47.3%	45.4%	46.3%	104.0	102.0	101.7
		時々飲酒	4425	20.7%	22.6%	22.7%	*92.0	*90.7	*91.3
		飲まない	4425	32.1%	32.0%	30.8%	99.9	103.9	103.9
	1回の量	1合未満	4412	54.5%	46.5%	44.5%	*117.2	*116.2	*122.3
		1～2合	4412	28.8%	34.9%	35.4%	*82.7	*84.3	*81.6
		2～3合	4412	13.3%	14.7%	15.6%	*91.4	*89.3	*85.9
		3合以上	4412	3.4%	3.9%	4.5%	85.4	86.9	*75.0
休養	睡眠で休養がとれない	4423	19.3%	20.5%	22.4%	21.8%	93.9	*85.9	*88.4

◆女性

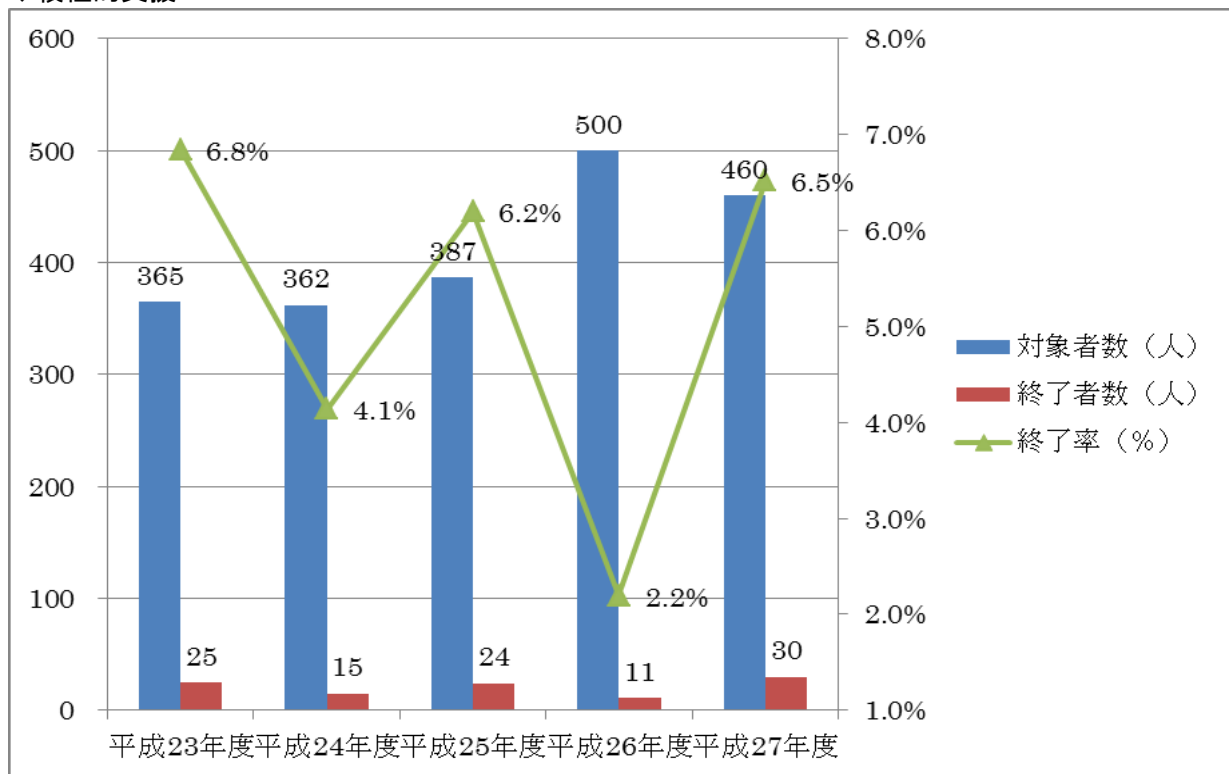
質問表の項目 単位：％		総人数	年齢調整割合				標準化比 vs.		
		深谷市	深谷市	同規模	県	全国 (基準)	同規模 (=100)	県 (=100)	全国 (=100)
たばこ	喫煙している	4981	5.3%	5.6%	7.0%	5.8%	95.4	*77.0	93.0
運動習慣	1回30分以上の運動習慣なし	4977	62.9%	59.9%	56.3%	60.4%	*104.5	*111.0	*103.7
	日常生活で1日1時間以上運動なし	4977	45.0%	46.1%	44.5%	46.3%	98.2	101.4	97.7
飲酒	習慣	毎日飲酒	4977	9.5%	9.2%	10.9%	105.5	*88.4	99.2
		時々飲酒	4977	20.1%	20.2%	20.7%	98.7	*89.1	95.9
		飲まない	4977	70.4%	70.7%	69.5%	99.6	*105.7	101.4
	1回の量	1合未満	4948	91.3%	86.5%	85.2%	*105.6	*107.2	*107.3
		1～2合	4948	6.4%	10.6%	11.6%	*61.4	*56.0	*56.3
		2～3合	4948	1.6%	2.2%	2.5%	*71.4	*63.3	*62.8
		3合以上	4948	0.7%	0.7%	0.7%	102.9	113.9	95.6
休養	睡眠で休養がとれない	4976	24.4%	24.8%	26.8%	25.8%	98.6	*91.2	94.9

※資料：KDB質問調査の状況、平成26年度年齢調整ツール

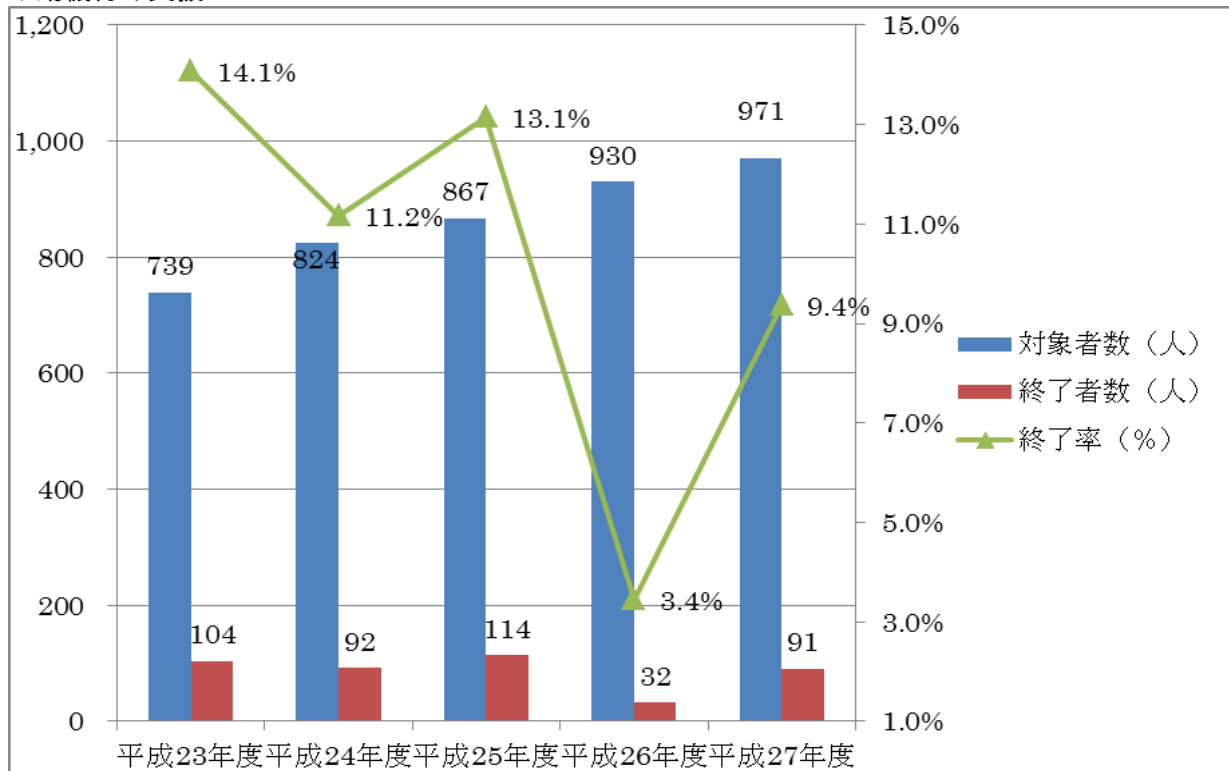
④特定保健指導終了率の状況

特定保健指導の対象者は積極的支援、動機付け支援ともに、特定健診の受診率に比例して増加しているが、その終了率は低下傾向である。

◆積極的支援



◆動機付け支援



※資料：「特定健診・特定保健指導保険者別実施状況資料」等

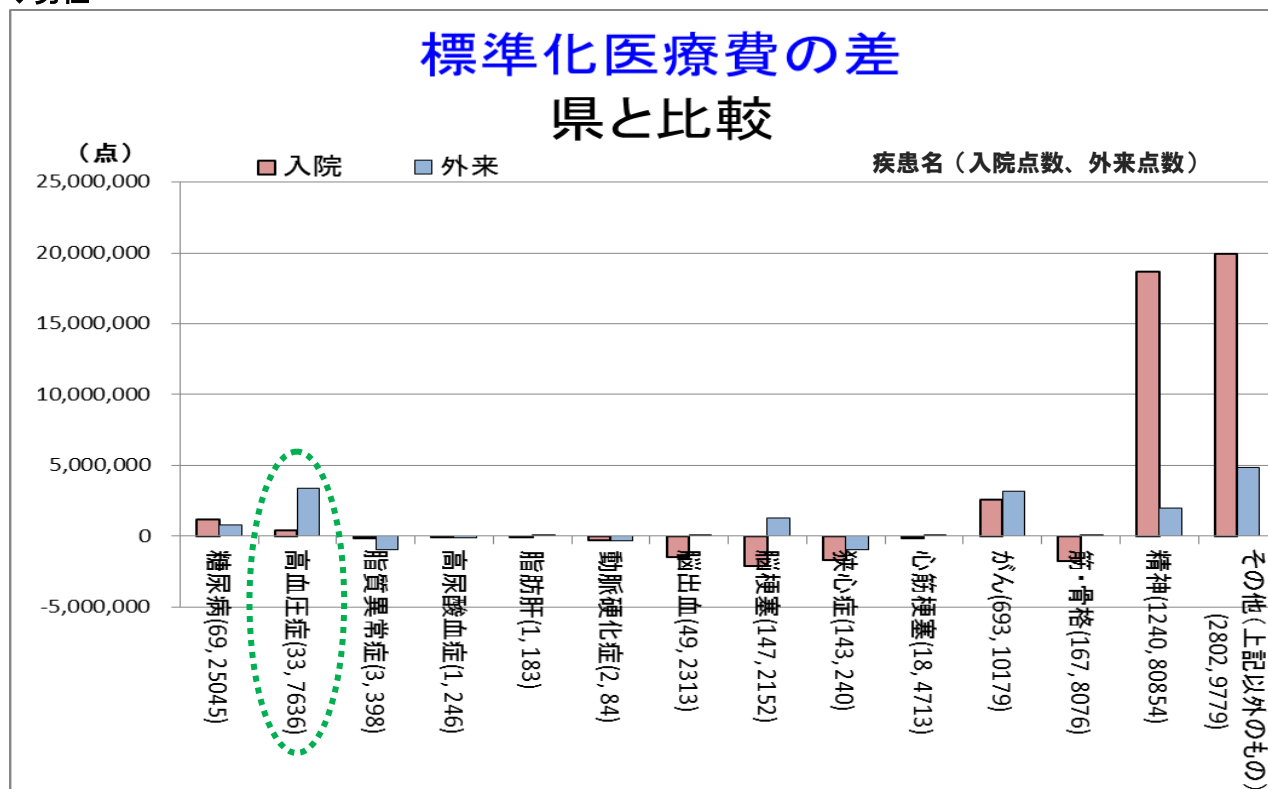
(2) 医療費データの分析

①標準化医療費の状況（平成26年度 埼玉県との比較）

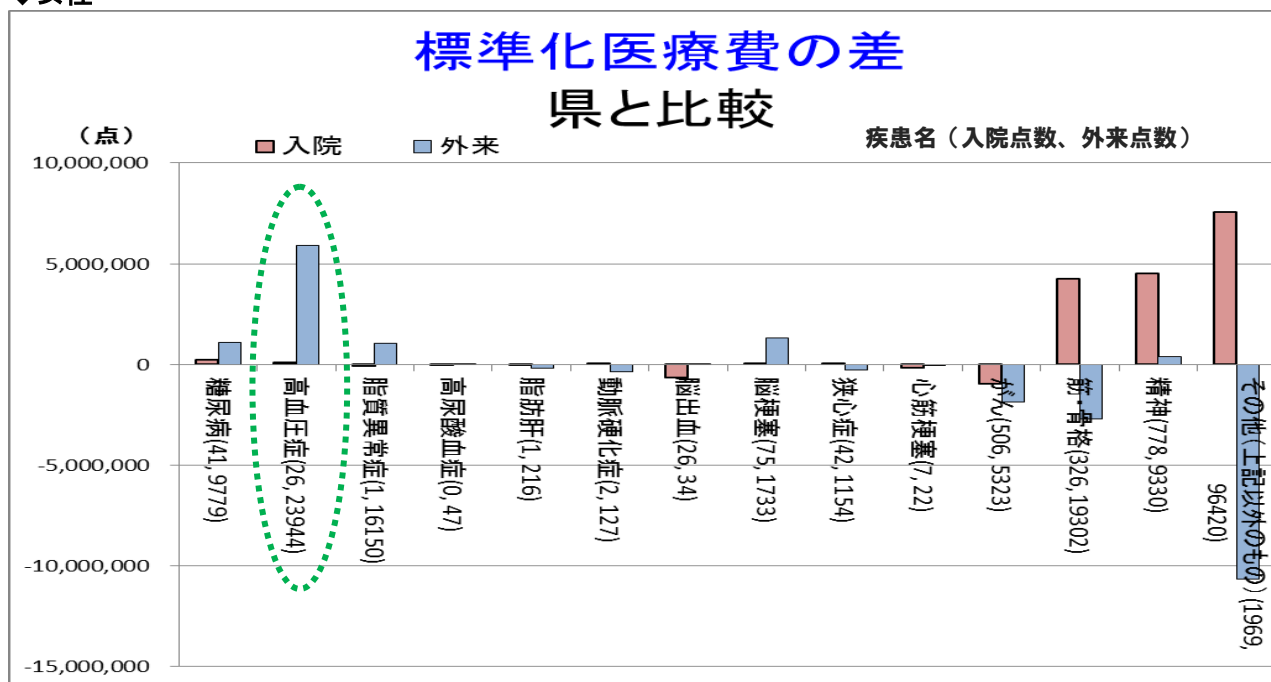
埼玉県と標準化医療費を比較したとき、外来では、男女ともに高血圧症で、入院では、男女ともに精神科で高い状況である。

＜※埼玉県の数値を“0(ゼロ)”としたときの深谷市の医療費を相対的に数値化したもの＞

◆男性



◆女性



※資料：KDB疾病別医療費分析（生活習慣病）平成26年度年齢調整ツール

●標準化医療費の解説

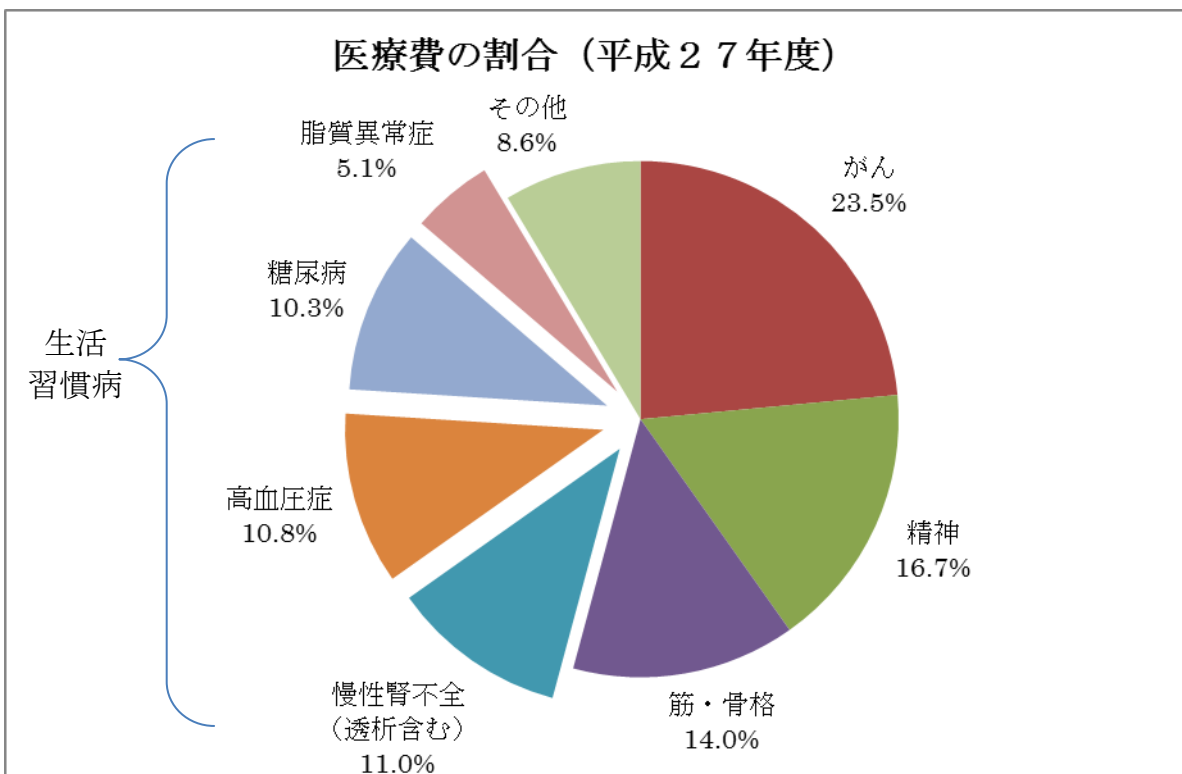
高齢者ほど様々な疾患に罹患しやすく、医療費が高額になることはよく知られている。A地区（＝自市）よりもB地区（＝比較対象）の方が一人あたり医療費が高額だったとしても、B地区の方が高齢者の割合が多ければ、A地区よりもB地区の方が（高齢者が多いので）一人あたり医療費は高額であたりまえとも考えられるので、医療費からみた健康状態に地区間の差があるかどうか判断できない。また、人口が多ければ当然、医療費の総額も高額となる。

そこで、B地区（比較対象）の年齢別人口構成がA地区（自市）と同一だった場合に期待される医療費の総額を計算し、A市（自市）の医療費の総額と比較すれば、年齢の影響を補正したうえで医療費から見た両地区の健康状態を比較することができる。ここでは、年齢調整した医療費のことを「標準化医療費」と呼ぶ（A地区の医療費は元の値のまま）。A地区とB地区の「標準化医療費の比」（地域差指数とも言う）を計算すれば、年齢の影響を補正したうえでA地区（自市）で何倍医療費がかかっているかを調べることができる。また、A地区とB地区の「標準化医療費の差」を計算すれば、年齢の影響を補正したうえでA地区（自市）はいくら医療費が多くかかっているかを調べることができる。

②深谷市の医療費の割合

深谷市国民健康保険の医療費の割合から、生活習慣病である、「慢性腎不全」「高血圧症」「糖尿病」「脂質異常症」で、医療費の3分の1以上を占めている。

全医療費のうち、糖尿病の重症化が起因する「慢性腎不全」の割合が11.0%、「高血圧症」の割合が10.8%、「糖尿病」は10.3%となっており、いずれも高い。

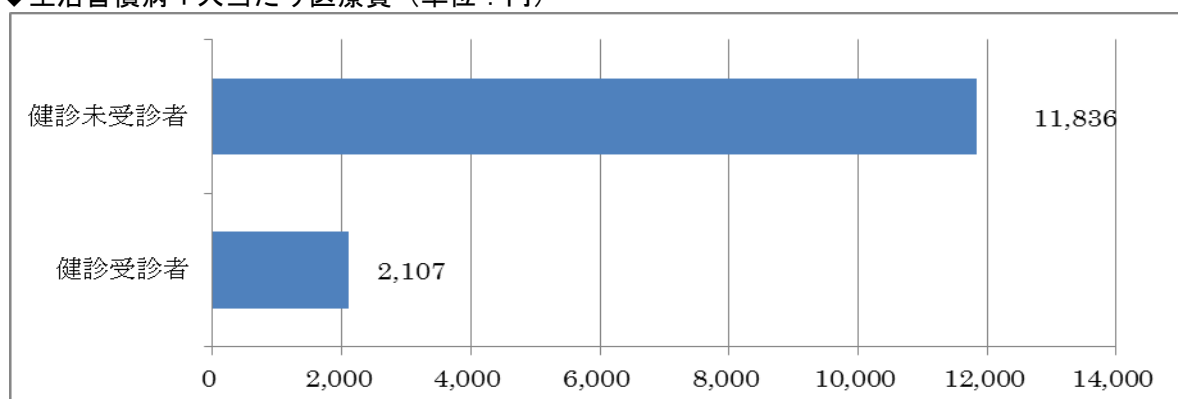


※資料：KDBシステム 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題より

③特定健康診査未受診者と受診者の医療費の状況（平成27年度）

健診受診者と未受診者の生活習慣病1人当たり医療費を比較すると、未受診者は受診者の約5倍の医療費がかかっている。

◆生活習慣病1人当たり医療費（単位：円）



※資料：KDBシステム（健診・医療・介護データからみる地域の健康課題）

④後発医薬品利用率及び重複・頻回受診者等の状況（平成27年度）

埼玉県各市町村平均と比較して、後発医薬品利用率は非常に低い割合となっている。また、重複、頻回受診者の占める割合が、市町村平均より少し高くなっている。

項 目		深谷市	県市町村平均
後発医薬品利用率（％）	数量ベース	54.8	62.5
	利用率	48.7	57.2
重複受診者（レセプト4件以上）の占める割合（％）		1.63	1.46
頻回受診者（15日以上）の占める割合（％）		3.12	2.51

※資料：埼玉県国民健康保険団体連合会より

(3) これまでの保健事業の取組

本市ではこれまで、生活習慣病を中心とした疾病予防事業のほか、健康保持及び増進を目的とした取り組み等を以下のとおり実施してきた。（※実施状況については平成27年度のものの。）

◆特定健康診査・特定保健指導事業

事業名	事業の目的	事業の概要	対象者	実施状況
特定健康診査	被保険者の健康状態を把握し、生活習慣病の早期発見と予防につなげるため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保険者が実施する	【実施時期】 6月から1月まで 【実施方法】 集団検診（業務委託） 【自己負担】 500円 【案内方法】 受診券の個別送付、広報・市ホームページ、ポスター掲示、チラシの全戸配布、未受診者勧奨はがき	40～74歳の深谷市国民健康保険被保険者 対象者数： 27,783人	受診率：35.4% （目標受診率：50%）
特定保健指導	特定健康診査等の結果により、健康の保持に努める必要がある人に対して実施する保健指導であり、健康診査の結果や、年齢に応じて保健指導レベルを分け、生活習慣の改善を図る	【実施時期】 7月から3月まで（初回面接） 【実施方法】 個別指導（業務委託） 【自己負担】 なし 【案内方法】 利用案内通知の個別送付、広報・市ホームページ	特定健診の結果が基準値を超えたかた 〈動機付け〉 対象者：971人 〈積極的〉 対象者数：460人	実施率：8.5% 動機付け：9.4% 積極的：6.5% （目標実施率：40%）
特定健診未受診者勧奨事業	特定健康診査の受診率の向上を図る	・勧奨通知の送付 ・電話勧奨 ・イベントで啓発グッズの配布 ・事業者健診データの提供依頼 ・TV、ラジオCMの放映	特定健康診査の未受診者	・年2回の勧奨通知を送付 ・約12,000人へ電話勧奨 ・看護の日等のイベントで啓発グッズを配布 ・約170件の健診データの提供を受ける ・国保連合会の共同事業として、TV、ラジオCMを放映
特定保健指導利用勧奨事業	特定保健指導の利用率の向上を図る	・電話勧奨	特定保健指導の未利用者	・約1,300人へ電話勧奨

◆各種検診（健診）事業

事業名	事業の目的	事業の概要	対象者	実施状況
各種がん検診	自覚症状がないかたを対象に早期にがんを発見し、治療に結びつけることを目的に実施	【実施時期】 6月から1月まで ※子宮頸がん及び乳がんについては2月まで 【実施方法】 集団検診（業務委託） ※子宮頸がん及び乳がんについては、個別検診も有 【案内方法】 チラシの配布、広報・市ホームページ		
	胃がん	【自己負担】 500円	30歳以上の市民	目標受診率：20.0% 受診者数：7,397人 受診率：15.1%
	肺がん	【自己負担】 胸部レントゲン検査：200円 喀痰検査：500円	30歳以上の市民	受診者数：10,904人 受診率：22.2%
	大腸がん	【自己負担】 300円	30歳以上の市民	受診者数：10,899人 受診率：22.2%
	前立腺がん	【自己負担】 300円	40歳以上の男性市民	受診者数：4,127人 受診率：24.5%
	子宮頸がん	【自己負担】 集団：500円 個別：1,200円	当該年度に偶数年齢になる20歳以上の女性市民	受診者数：3,039人 受診率：20.5% ※平成27年度から 検診頻度を1回/2年に変更
	乳がん	【自己負担】 ○30～39歳 集団：500円 個別：500円 ○40歳以上 集団：1,000円 個別：1,200円	当該年度に偶数年齢になる30歳以上の女性市民	受診者数：3,621人 受診率：20.5% ※平成27年度から 検診頻度を1回/2年に変更
30歳代健康診査	生活習慣病を予防する対策の一環として、疾病の早期発見を図ることを目的に実施	【実施時期】 6月から1月まで 【実施方法】 集団健診（業務委託） 【自己負担】 1,300円 【案内方法】 チラシの配布、広報・市ホームページ	30～39歳の市民	受診者数：435人 受診率：7.9%

◆その他保健事業

事業名	事業の目的	事業の概要	対象者	実施状況
人間ドック等 助成事業	人間ドック等の費用の一部を助成することで、疾病の予防、早期発見並びに早期治療を図り、被保険者の健康の保持及び増進に寄与することを目的とする	【実施時期】 4月から3月まで 【助成額】 17,500円 【案内方法】 チラシの配布、 広報・市ホームページ	35歳以上のかたで、深谷市国民健康保険に加入して1年以上が経過し、国民健康保険税に滞納が無い世帯に属するかた	利用者：697人 人間ドック：569人 脳ドック：128人
生活習慣病重症化予防事業	糖尿病性腎症の重症化を防ぎ、人工透析移行者を減少させる	埼玉県共同事業で実施。 【実施時期】 7月から3月まで 【案内方法】 個別通知、 広報・市ホームページ	〈生活指導〉 対象者：320人 〈未受診者・受診勧奨〉 対象者：198人	〈生活指導〉 終了者：85人
後発医薬品の 差額通知	後発医薬品の利用促進をすることで、医療費の適正化を図る	【実施時期】 9月、3月 【実施方法】 国保連合会の共同事業により、差額通知を作成し、該当者へ送付	対象月に、生活習慣病（高血圧症、脂質異常症、糖尿病）に関する先発医薬品を処方されたかたのうち、後発医薬品に切り替えたとき、1月で自己負担額が300円以上軽減されるかた	延べ2,136枚の差額通知を発送

◆健康づくり事業

事業名	事業の目的	事業の概要	対象者	実施状況
健康マイレージ事業	市民、関係機関、行政が協働して広く健康づくり事業に取り組むことにより、健康なまちづくりを目指す	【実施時期】 6月～3月 【実施方法】 各種健(検)診受診及び他者との交流、社会参加をすることを、広く健康づくりと捉えてポイント化する	20歳以上の市内在住・在勤・在学のかた	・参加者数：延べ2,680人 ・ポイント達成者：985人 ・協賛店数：82店 ・登録事業数：207本
介護予防教室	高齢者が介護状態となることを予防する	介護予防のための講話と実技 ・運動教室 ・栄養教室 ・口腔教室	おおむね65歳以上の高齢者	20回開催
深谷市高齢者運動サポート事業 (きらめきサポートフィットネス)	運動習慣を身に付け、高齢者の運動器の機能向上や介護予防を図る	週1回スポーツクラブに通い、インストラクター等と相談しながら自分に合った運動メニューを3か月間実施する	下記を全て満たすかた ①市内在住 ②65歳以上のかた ③要介護・要支援認定を受けていない ④介護保険料の滞納がない ⑤医師から運動の制限がない	2期実施 (1期3か月間) 参加者 実116人 延べ1,050人
いきいき元気教室	高齢者自らの身体能力の維持・向上のため、自主的・継続的に運動が実践できるよう支援する	週1回3か月間施設に通い、マシンを使わない運動や体操を学ぶ	上記①～⑤に同じ	1期実施 参加者 実86人 延べ822人 (実施箇所：5施設)
認知症予防教室 (オレンジ倶楽部)	認知症に対する正しい知識の普及啓発、認知機能低下を予防する	認知症に関する講義、運動、脳トレーニング等を全6回の講座で学ぶ	上記①～④に加えて、医療機関で認知症の診断を受けていたり、治療中でないかた	2期実施 参加者 実52人 延べ309人

第3章 深谷市における課題

1 深谷市における健康課題のまとめ

これまでの深谷市の地域の特性や医療費の分析、これまでの事業の取組実績を踏まえ、そこから見てきた健康課題等をまとめた。

(1) 地域の特性から浮かび上がった課題

- ①生活習慣病に係る標準化死亡比（SMR）が国、埼玉県と比較して高く、加えて一人当たり医療費も県内市町村と比較して高いことから、生活習慣病により高額な医療費がかかっていると考えられる。
- ②全国、埼玉県と比較して、がんで死亡するかたが少なく、心臓病や脳疾患で死亡するかたが多い傾向にある。また、男女共に腎不全、脳梗塞が高くなっており、加えて、当該疾患の原因となる糖尿病及び高血圧の医療費が高い状況である。

(2) 医療費の分析及びこれまでの取組から見てきた課題

- ①特定健診受診者と未受診者との比較では、生活習慣病にかかる医療費に大きな差が見られた。また、特定健診受診率についても目標受診率には至っていない状況であり、引き続き受診率の向上を図り、生活習慣病の早期発見・早期治療に結び付ける必要がある。
- ②特定健診の質問票から、埼玉県や全国と比較して、運動習慣の無いかたの割合が大きいことが分かる。
- ③特定健診の結果から、非肥満（BMI、腹囲等が特定保健指導の判定基準外）であるが高血糖又は高血圧の受診者が多いため、特定保健指導の対象者にならない受診者に対する対策も必要である。
- ④特定保健指導の終了率が低い傾向にある。生活習慣病の重症化を防ぐためにも終了率の向上に取り組む必要がある。
- ⑤後発医薬品の利用率が低い水準であるため、医療費の適正化を図るためにも、利用率の向上に努める必要がある。

第4章 目的・目標の設定

第3章で確認した深谷市における課題のまとめを踏まえ、保健事業として取り組むべき健康課題とその目的を整理するとともに、この目的を達成するために成果目標を設定する。

1 高血糖・高血圧対策

健康課題	目的	成果目標		
		中長期的な目標	28年度	29年度
○生活習慣病、特に、慢性腎不全、高血圧症、糖尿病の医療費の割合が高い。 ○国、埼玉県と比較して、男女共に腎不全、脳梗塞において、死亡率が高い。当該疾患の原因となる糖尿病、高血圧症の治療費も高い。 ○非肥満のかたも含め、高血糖の有所見率が非常に高い。	○慢性腎不全、糖尿病、高血圧症の医療費の抑制。 ○腎不全、脳疾患での死亡率の低下。	○糖尿病性腎症の重症化を防ぎ、人工透析移行者を減少させる。	○生活指導を受けたかたの目標達成率を50%とする。	○28年度対比で生活指導を受けたかたの目標達成率を5%向上。
		○非肥満高血糖の者の割合を減少させる。		
		○高血糖・高血圧の有所見率を減少させる。	○高血糖有所見率（年齢調整後）の前年度対比2%の減少。 ○高血圧有所見率（年齢調整後）の前年度対比2%の減少。	○高血糖有所見率（年齢調整後）の前年度対比2%の減少。 ○高血圧有所見率（年齢調整後）の前年度対比2%の減少。

2 特定健診・特定保健指導

健康課題	目的	成果目標		
		中長期的な目標	28年度	29年度
○特定健診受診率が低い。	○特定健診の受診率を向上させ、生活習慣病の早期発見、早期治療に結びつけ、医療費の適正化を図る。	○特定健診受診率60%を目指す。	○27年度対比で特定健診受診率の3%向上。	○28年度対比で特定健診受診率の3%向上。
○特定保健指導の実施率が低い。	○より多くの保健指導対象者の生活習慣の改善を行うことで、医療費の適正化につなげる。 ○生活習慣病の重症化を防ぐ。	○特定保健指導実施率60%を目指す。	○27年度対比で特定保健指導実施率の3%向上。	○28年度対比で特定保健指導実施率の3%向上。

3 その他

健康課題	目的	成果目標		
		中長期的な目標	28年度	29年度
○後発医薬品の利用率が低い。	○後発医薬品の利用率を向上させ、医療費適正化を図る。	○後発医薬品利用率の埼玉県市町村平均値を超える。	○27年度対比で後発医薬品利用率の5%向上。	○28年度対比で後発医薬品利用率の5%向上。

第5章 保健事業の実施内容

第4章で掲げた目標を達成するため、次の保健事業に取り組むこととする。

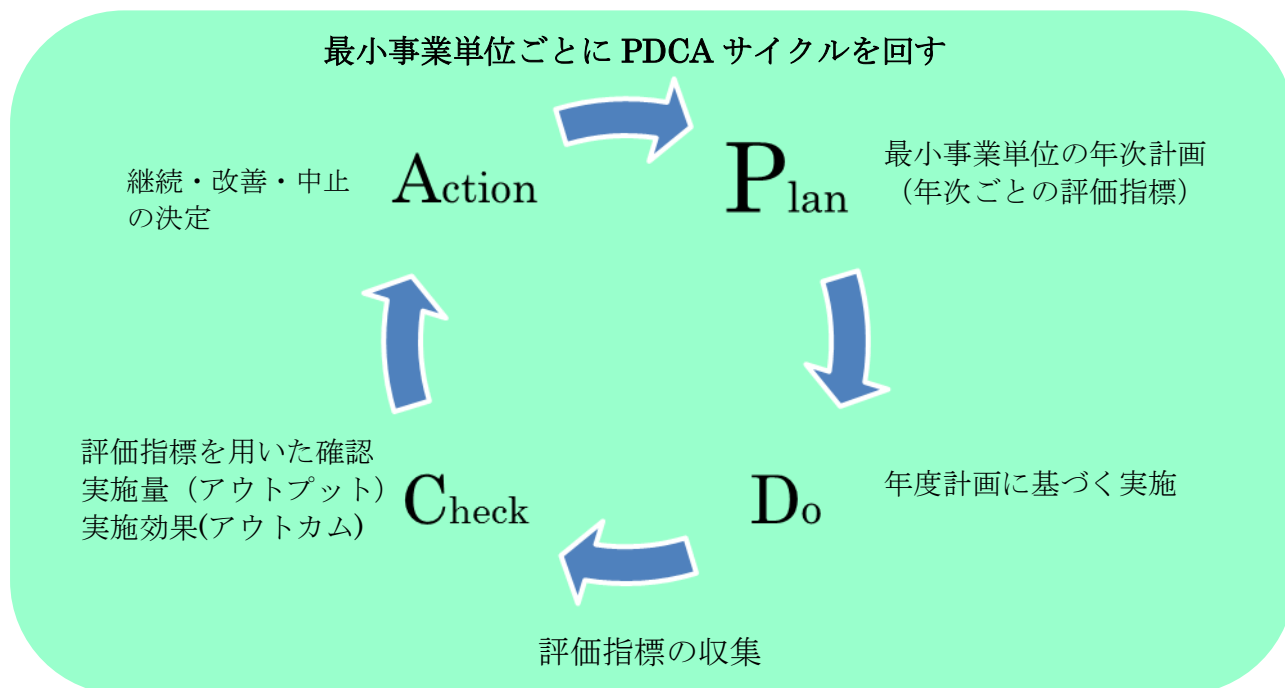
事業内容	対象者	実施方法	担当課	実施期間	実施場所	評価
生活習慣病重症化予防事業	医療機関未受診の者のうち、生活習慣病の重症化リスクが高い者	特定健診結果や、レセプトデータ等を基に、対象者を選定し、通知等で医療機関への受診を勧奨する。	保険年金課	年間	市役所等	・勧奨実施数 ・医療機関受診状況
	健診結果において、血糖値及び血圧が高く、CKD（慢性腎臓病）ステージ（病期）2～4期の者	特定健診結果や、レセプトデータ等を基に、対象者を抽出し、約6ヶ月間の生活指導を行う。生活指導は業務委託により実施する。	保険年金課	年間	深谷寄居医師会メディカルセンター等	・保健指導への参加者数 ・保健指導参加者の検査結果
ふかや毎日プラス1,000歩運動事業【健康長寿埼玉モデル事業】	20歳以上の市民	自動転送機能付き万歩計を使用して、毎日プラス1,000歩を目標に市民に自由に歩いてもらう。	保健センター	7月～12月	保健センター等	・国保加入者等の医療費を把握・分析 ・外部評価分析
健康に関する講演会	市民	健康をテーマに医師による各種講演会を開催する。	保健センター	年3回	公民館等	・参加者数
減塩教育事業	市民	減塩をテーマに生活習慣病予防との関連についての体験型講座を開催する。	保健センター	年間	学校・公民館等	・参加者数 （塩マスター：市独自の受講証発行数）
ハイリスク健康教育事業	30歳代健診及び特定健康診査結果において、保健指導が必要な者	管理栄養士等による生活指導を行う。	保健センター/保険年金課	7月～12月	保健センター等	・血液データ等の改善
特定健康診査未受診者対策事業	特定健康診査未受診者	①電話での受診勧奨 ②通知による受診勧奨 ③事業者健診等の健診結果の提供の呼びかけ	保険年金課	6月～	市役所等	・特定健康診査の受診率 ・勧奨者の受診率 ・通知等の発送数
特定保健指導未利用者対策事業	特定保健指導未利用者	①電話での受診勧奨 ②通知による受診勧奨	保険年金課	6月～	市役所等	・特定保健指導の利用率 ・勧奨者の利用率 ・通知等の発送数
後発医薬品利用率向上事業	国民健康保険被保険者	①後発医薬品利用差額通知の送付 ②利用啓発ポスターの掲示 ③後発医薬品利用希望シールの作成、配布	保険年金課	年間	市役所等	・後発医薬品利用率 ・通知の発送件数 ・シールの配布枚数

第6章 計画の評価及び見直し

1 計画の評価及び見直し

最終年度となる平成29年度に、計画に掲げた目標の達成状況の評価する。評価には、KDBシステムから出力されるデータ、特定健診の国への実績報告後のデータ、各事業の実施結果を用いる。

また、評価を基に、PDCAのサイクルのプロセスに沿って進捗状況や評価結果を活用し、状況に応じて計画の見直しを行う。



第7章 計画の推進

1 計画の公表・周知

策定した計画は、深谷市のホームページに掲載するとともに、実施状況のとりまとめを行い、評価・見直しに活用する。

2 事業運営上の留意事項

深谷市では国民健康保険事業の担当課である保険年金課に保健師等の専門職が配置されていないが、計画の推進及び事業実施にあたっては、衛生部門や介護担当部門など、関係部署と共通認識をもって、課題解決に取り組むものとする。

また、医師会、薬剤師会、歯科医師会などの関係機関・団体とも連携していく。

3 個人情報の保護

深谷市における個人情報の取扱は、深谷市個人情報保護条例（平成18年1月1日規則第14号）によるものとする。



深谷市国民健康保険保健事業実施計画

編集・発行 深谷市 市民生活部 保険年金課
〒366-8501 深谷市仲町 11 番 1 号
電話：（代表）048-571-1211
（直通）048-574-6641
FAX：048-574-6666
E-mail：nenkin@city.fukaya.saitama.jp